H22 年 科目名 英文表記 電波電送学 Electromagnetic Wave Transmission 6月16日 教員名: 石田 修己 修正 技術支援: 授業形態 対象学科 学年 必・選 履修・学修 単位数 授業期間 情報通信システム工学科 5年 選択 学修 2 単位 講義 半期 1. 波長に比べて無視できないサイズの空間・構造物における電磁波の振舞を理解する. 2. 電磁波関連用語等を学び、技術的コミュニケーションができるようにする. 目標 3. 基本的な事項に関して、実務的な計算ができるようにする. JABEE プログラム名称 1 2 3 情報通信システム工学 高専目標 **JABEE** プログラム教育目標 | A-2, A-4, B-1, B-2, B-3, C-1 \bigcirc 授業概要、 電波電送の基礎技術として、分布定数線路、スミスチャート、光を含めた電磁波の伝 送路、電磁波の放射ともっとも基本的なアンテナ、電波伝搬の基礎について、教科書 方 針、 履修上の注意 の構成に沿って体系的に学ぶ. 中間試験の得点 50%、期末試験の得点 50%で評価する. 評価方法 教科書・教材 電波工学(森北出版) 参考図書 電波工学 (コロナ社) 授 業 計 画 時 授 業 項 授 業 内 容 目 間 1. ガイダンス, 伝送路の形式 授業の目標, 概要, 進め方. 代表的な高周波伝送路 2. 分布定数線路の解析(1) 基礎方程式とその解 2 3. 分布定数線路の解析(2) 伝送線路の基本定数, 伝搬定数, 特性インピーダンス 2 伝搬波の様子, 代表的伝送線路の各定数 4. 分布定数線路の解析(3) 2 終端条件を与えた場合の基礎方程式 5. 分布定数線路の解析(3) 2 6. 分布定数線路の解析(3) 2 入力インピーダンス 反射係数と定在波比, スミスチャート 7. 分布定数線路の解析(3) 2 8. 分布定数線路の解析 (7) 2 分布定数線路のまとめと復習 9. 前期中間試験 $\mathbf{2}$ 変位電流, マクスウェルの方程式, 波動方程式 10. 基礎電磁方程式 22 平面波の式, 固有インピーダンス, ポインティング電力 11. 平面電磁波 12. アンテナ(1) 2 電気ダイポールアンテナの性質 アンテナの基本となる電気性能 13. アンテナ (2) 2

学修単位における自学自習時間の保証 (レポート頻度など)

2

2

[2]

30

地上波の伝搬, 大気中の減衰

大気による屈折, ダクト伝搬

実時間

25

各授業項目に対して演習問題のレポートを課す(4回).

14. 電波伝搬(1)

15. 電波伝搬 (2)

学習時間合計

前期末試験